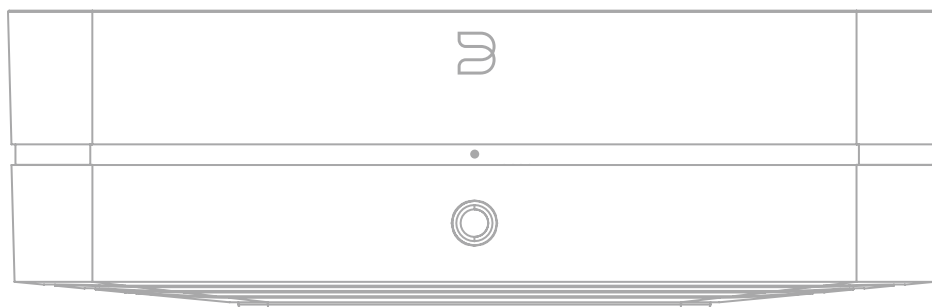


# BLUESOUND

## POWERNODE

(N331)

マルチルーム・ミュージック・ストリーミング・アンプ



### 取扱説明書

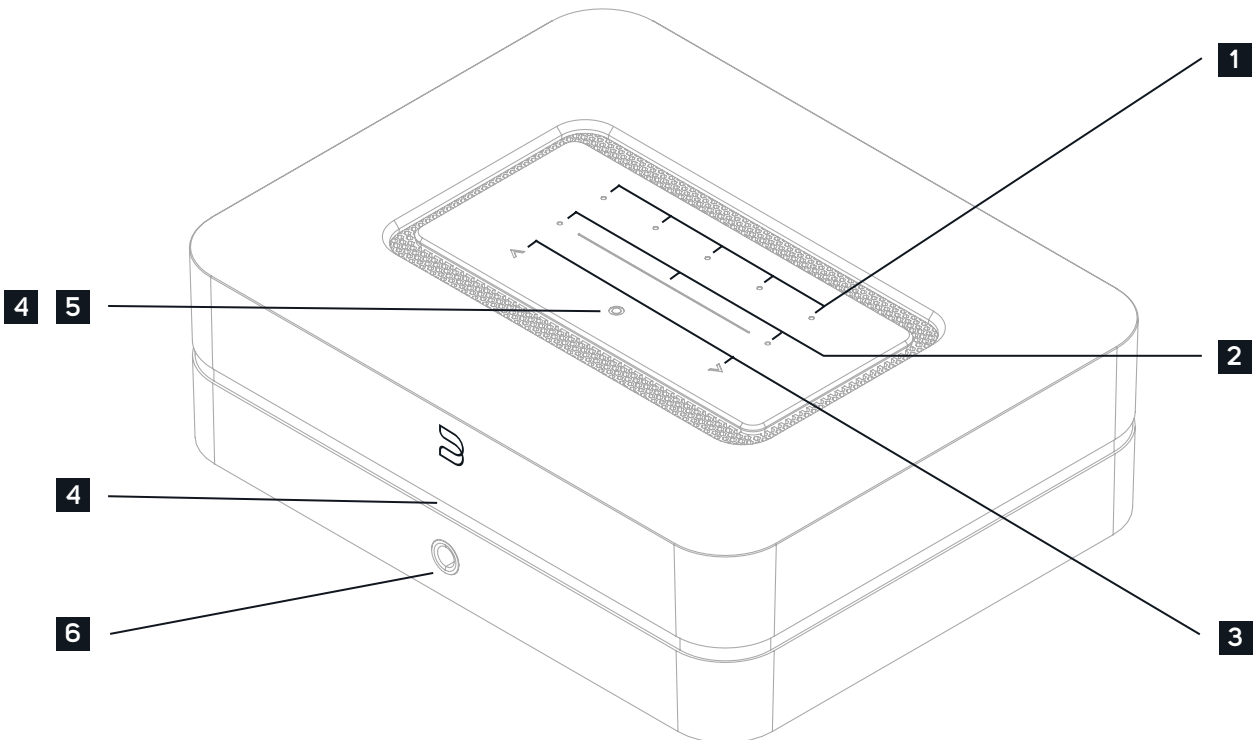
v. N331

Bluesoundへようこそ

POWERNODEをご購入いただきありがとうございます。本機は、ハイレゾオーディオの楽しみを日常生活に手軽にもたらすネットワーク・ミュージック・ストリーミング・アンプです。スピーカーを追加するだけで、究極の2チャンネルまたは3チャンネルシステムを構築できます。また、他のBluesoundプレーヤーと組み合わせることで、マルチルームリスニング体験を実現できます。

BluOS

世界をリードするハイレゾ・ストリーミング・オーディオのエコシステムであるBluOSマルチルーム音楽ストリーミング・プラットフォームは、Bluesound製品のパフォーマンスの基盤です。POWERNODEには音楽サービスが内蔵されているため、お気に入りのアーティストやプレイリストを簡単に聴くことができます。BluOSコントローラーアプリを使えば、POWERNODEを他のBluesoundプレーヤーとグループ化して家全体でリスニング体験を楽しんだり、テレビなどのオーディオソースとお気に入りのスピーカーセットに接続して完全なステレオシステムとして使用したりできます。いずれにしても、POWERNODEを使えば、これまで以上に簡単にハイレゾリスニングの喜びを味わうことができます。



付属品



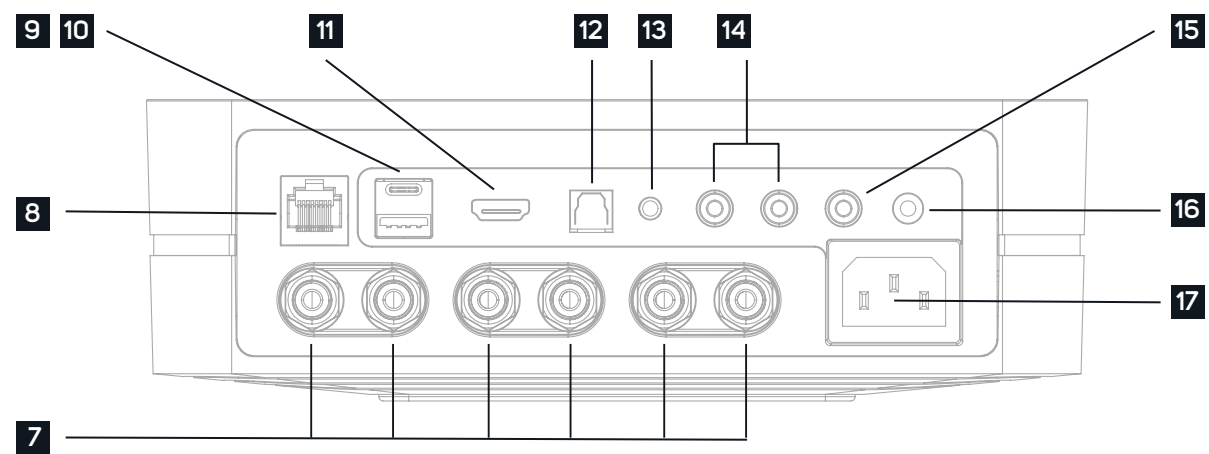
100V 電源コード



イーサネットケーブル



トスリンクミニプラグ  
アダプター



- 1

**プリセット** POWERNODE にはプログラム可能な 5 つのプリセットボタンがあります。これらのプリセットは、BluOSアプリのプリセットのメニューを使用して設定します。
- 2

**ボリュームスライダー／タップ** スライダーを使用してボリュームレベルを変更します。スライダーの両端にあるボタンをタップすると、1 dB 間隔で音量レベルが変化します。もしくは調整したい方向にスライダーをタップすると、3dB 間隔で音量レベルが変化します。これらのタップ方法で、音量を微調整することができます。
- 3

**スキップ** これらのボタンは、現在の再生キューの中で、前の曲に戻ったり◀、次の曲にスキップしたり»することができます。
- 4

**ステータスインジケーター** 以下は、LED の点滅コードとその説明です。

LED点滅コード	状態説明
短い青の点滅、その後赤点灯	電源投入、本体の再起動
緑の点灯	ホットスポット・モード
緑の点滅	ネットワークへの接続試行中
白の点滅	利用可能なソフトウェア・アップデートがあります
赤の点灯	アップグレード・モード
赤と緑が交互に点滅	アップグレード中
青の点滅	ミュート・モード
白の点灯	インデックス作成中
青の点灯	ネットワークに接続済み - BluOS アプリの使用が可能
赤の点滅	ファクトリーリセット処理中
紫の点灯	ホットスポット・モードがタイムアウト

- 5

**再生／一時停止ボタン** このボタンは、ネットワーク接続の視覚的インジケーターと再生／一時停止ボタンという複数の機能を持っています。LED の点滅コードについては、4 番 - 点滅コードを参照してください。グループ化されていないプレーヤーの場合、このボタンを押すとストリームの再生／一時停止ができます。インターネットラジオを聴いている場合、一時停止機能は 30 秒間働きます。この時点でバッファがいっぱいになり、ストリームが停止します。プレーヤーがグループ化されている場合、再生／一時停止ボタンを押すと、そのプレーヤーはミュートされます。他のプレーヤーがストリームを継続している間、そのプレーヤーはミュートされます。ミュート中はプレーヤーのLED が青く点滅します。また、このボタンは ファクトリーリセット機能にも使用します。後述のファクトリーリセットの手順をご参照ください。
- 6

**ヘッドホンジャック** NODE の前面に 6.35mm ヘッドフォン・ジャックがあります。
- 7

**スピーカー** 右スピーカーを「R+」と「R-」と表示された端子に接続します。「R+」はスピーカーの「+」端子に、「R-」はスピーカーの「-」端子に接続してください。左スピーカーについても「L+」と「L-」を使用して同じ手順を繰り返します。センタースピーカーを使用する場合は、「C+」と「C-」を使用して同じ手順を繰り返します。両端の端子間やポスト間に、余分な電線や燃線が入らないように十分注意してください。
- 8

**LAN 端子(LAN)** 付属のイーサネットケーブルで有線 LAN 接続ができます。POWERNODE はルーターに Wi-Fi ネットワークに接続できるため、この接続はオプションです。LAN 端子を使用して POWERNODE をセットアップするには、有線のイーサネット接続が必要です。付属のイーサネットケーブルを使用して、一方の端を 有線イーサネット・ブロードバンドルーターの LAN 端子に、もう一方の端を POWERNODE の LAN 端子に接続してください。
- 9

**USB入力(タイプC)** PCまたはMacをUSB C入力に接続すると、コンピューターからのコンテンツストリーミングを開始できます。コンピューターのオーディオ設定メニューからPOWERNODEを選択する必要がある場合があります。
- 10

**USB入力(タイプA)** USBマストレージデバイスをUSB入力に接続します。POWERNODEと互換性のある一般的なUSBマストレージデバイスには、ポータブルフラッシュメモリデバイスや外付けハードドライブ (FAT32またはNTFSフォーマット) などがあります。【設定のサーバーモードについてをお読みください】
- 11

**HDMI eARC** HDMI ケーブル(市販品)を使用して、一方の端を POWERNODE の eARC 入力に、もう一方の端をテレビの A RC 対応の HDMI 出力に接続してください。テレビの設定で ARC を有効にする必要がある場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。BluOS アプリでは、ソースが HDMI ARC として表示されます。現在サポートされているのは PCM オーディオ再生のみです。
- 12

**光デジタル入力1(OPTICAL IN 1)** デジタル光ケーブル(市販品)の一方の端をPOWERNODEの光入力に、もう一方の端を他の対応デバイスの対応する光出力に接続します。ソースはBluOSアプリで光入力1として表示されます。

13

**光デジタル入力 2/アナログ入力 2(OPTICAL IN 2/ANALOG IN 2)** 3.5mm ステレオオーディオケーブル(市販品)を使用して、一方の端を POWERNODE のアナログ入力(ANALOG IN)に、もう一方の端を他の互換性のあるデバイスの対応するアナログ出力に接続します。BluOS アプリには「アナログ入力 2」として表示されます。トスリンク-3.5mm ミニジャックへ付属アダプターを使用して、光デジタルソースを追加することもできます。この場合、BluOS アプリでは「光入力2」として表示されます。

14

**アナログ入力1** RCAステレオオーディオケーブル(市販品)を使用し、一方の端をPOWERNODEのアナログ入力(ANALOG IN)に接続し、もう一方の端を他の互換デバイスの対応するアナログ出力に接続してください。ソースはBluOSアプリ上でアナログ入力1として表示されます。

15

**サブウーファー出力(SUBW OUT)** サブウーファーをPOWERNODEに直接接続できます。サブウーファー出力をパワード(アクティブ)サブウーファーに接続してください。
- 16

**IR入力 (IR IN)** 赤外線エクステンダーを接続して、フロントパネルの赤外線センサーが見えない場所にPOWERNODE を設置した場合に、プログラム可能な学習リモコンで音量やソースの選択をコントロールすることができます。
- 17

**電源入力** 付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに接続する前に、もう一方の端を POWERNODE の電源入力ソケットにしっかりと接続してください。プ POWERNODE の電源入力ソケットからケーブルを取り外す前に、必ず壁のコンセントからプラグを取り外してください。
- ## ネットワーク
- POWERNODEはネットワークオーディオプレーヤーであり、正常に動作するには適切に構築されたローカルエリアネットワークが必要です。ソフトウェアの更新や、クラウドベースの音楽ストリーミングなどプレーヤーの多くの機能を利用するにはインターネット接続が必須です。
- POWERNODEを機器と電源に接続したら、ネットワークに追加する必要があります。フロントパネルのLEDが緑色に点灯し、「ホットスポット」モードでネットワーク接続の準備が整ったことを示します。プレーヤーは、有線イーサネットまたはWi-Fi経由でネットワークに追加できます。イーサネットを使用する場合は、イーサネットケーブルをPOWERNODEのLANポートに接続するだけです。LEDが青色に点灯し、ネットワーク接続を示します。Wi-Fiを使用する場合は、スマートフォンまたはタブレットでBluOSアプリを開き、「プレーヤーを追加」ウィザードの手順に従ってください。イーサネットまたはWi-Fiのどちらで接続する場合でも、BluOSアプリ内でPOWER NODEを初期化してセットアップを完了する必要があります。
- ## プリセット
- BluOSコントローラーアプリを使って、お気に入りのラジオ局、音楽ストリーム、プレイリストをプリセットとして設定できます。プリセットは、POWERNODE本体の5つのプリセットボタン、またはIRリモコン(Bluesound RC1リモコン(別売)を含む)から呼び出すことができます。
- 4
- 5

# オーディオ設定

**リスニングモード**（ソフトウェアアップデートで提供予定）これらのリスニングモード内で設定を調整し、音楽、映画、深夜用の個別のリスニングプロファイルを作成できます。リスニングモードを選択すれば、異なるリスニング体験をすばやくお楽しみいただけます。

**バランス** 左右のチャンネルの音量バランスを調整します。

**センターチャンネル** センターチャンネルスピーカー出力を有効にします。

**センターチャンネルトリム** 有効にすると、センターチャンネルのトリムスライダーにアクセスでき、センターチャンネルのレベルを-10dBから+10dBの範囲で調整できます。トリムを上げると、左右のチャンネルのレベルが下がり、センターチャンネルの明瞭度が向上します。トリムを下げると、センターチャンネルのレベルのみが下がります。  
*注意: CENTER CHANNEL が有効になっている場合にのみ使用できます。*

**トーンコントロール** 有効にすると、プレーヤーの高音域と低音域の出力を調整できます。  
*注意: 有効にすると、プレーヤーの総音量が 6dB 低下し、低音と高音の出力を -6dB から 6dB まで調整できるようになります。*

**サブウーファー** サブウーファーを有効にすると、クロスオーバー・スライダーにアクセスして、プレーヤーと接続されたサブウーファー間のクロスオーバー周波数を調整できます。

**再生ゲイン** 再生キュー内のトラック間の不一致な音量レベルを設定するには、次のいずれかを選択します。

- **トラックゲイン** - 曲のメタデータからトラックゲイン値を使用して、現在のトラックの音量を他のトラックとより一貫したものにします。
- **アルバムゲイン** - メタデータからアルバムゲイン値を使用して、特定のアルバムのすべてのオーディオトラック間で一貫した音量レベルを提供します。
- **スマートゲイン** - BluOS がトラックゲインとアルバムゲインの値を自動的に選択して、現在のリスニングに最適な再生ゲインオプションを提供できるようにします。

*注意: BluOSは選択したオーディオトラックのメタデータを使用して、トラック間の一貫した音量レベルを設定します。*

**ステレオサラウンド:** 2チャンネルコンテンツをすべてのスピーカーで再生できます。ステレオ信号はセンターチャンネルとリアサラウンドにミックスされ、より臨場感あふれる自然なサラウンド音場を作り出します。

*注意: このオプションは、CENTER CHANNEL が有効になっている場合、またはプレーヤーが BluOS ホームシアター グループの一部である場合にのみ使用できます。*

**エンハンスド・ステレオ(ソフトウェアアップデートで提供予定)** 2チャンネルコンテンツをすべてのスピーカーからステレオ再生できます。左右の信号はセンターチャンネルとサラウンドチャンネルに分配され、サウンドステージが広がり、より包み込まれるようなリスニング体験を実現します。

*注意: このオプションは、CENTER CHANNEL が有効になっている場合、またはプレーヤーが BluOS ホームシアター グループの一部である場合にのみ使用できます。*

**出力モード** BluOS Playerのチャンネル出力を設定するには、以下のいずれかを選択してください:

- **左/右** - 左または右のオーディオチャンネルのみを出力します。
- **モノ** - 単一チャンネルのオーディオ出力を出力します。
- **ステレオ** - 左と右の両方のオーディオチャンネルを出力します。

**音量制限(dB)** BluOSコントローラーアプリで音量コントロールの上限と下限を設定します。BluOSプレーヤーの音量上限または下限を変更すると、音量調整時の精度が向上します。

# 設定

赤外線リモコンの設定既存のリモコンをNODE ICONに学習させるか、Bluesound RC1リモコン(箱から出してすぐ使用可能)を使用して赤外線リモコンを設定してください。

- **BluOSリモコン:** 同じ部屋に複数のBluesoundプレーヤーがあり、そのうち1台だけのリモコンで操作したい場合は、RC1リモコンを有効/無効にできます。複数のリモコンをお持ちの場合は、各プレーヤーの IR チャンネルを変更できます。
- **IR 学習:** お持ちのリモコンを NODE ICON で操作できるようにプログラムできます。

**インジケーターの明るさ** Bluesoundプレーヤーの表示の明るさを調整します

- **ノーマル** - デフォルトの明るさ
- **暗くする** - 明るさを下げる
- **オフ** - 表示を消す

*注意: 近接センサーをオフにすると、インジケーター オフ機能は無効になります。*

**近接センサー** トップパネルのユーザーインターフェースの近接センサーをオンまたはオフにします。近接センサーがオンの場合のタイムアウト時間を調整します。

**入力のカスタマイズ** ほとんどの入力はこのメニューから調整できます。個々の入力の名前やアイコンを変更することも可能です。

**BLUETOOTH: Bluetooth の可視性と機能の設定。**

- **手動** - このモードでは、[音楽] タブの [入力] セクションで、ローカル ソースとしての Bluetooth を手動で切り替えることができます。
- **自動** - (デフォルトモード) このモードでは、Bluetooth接続されたデバイスが再生を開始すると、自動的にBluetoothソースに切り替わります。
- **ゲスト** - このモードでは、接続されたBluetoothデバイスがオーディオの再生を開始すると、BluesoundプレーヤーがBluetoothソースに切り替わります。ただし、ソースを切り替えるとBluetooth接続は切断されます。Bluetoothソースは「ミュージック」タブの入力セクションに表示されません。この設定は、複数のBluetooth対応デバイスからオーディオをストリーミングする場合に最適です。
- **無効** - このモードでは、プレーヤーのBluetoothレシーバーがオフになります。

アナログ入力／光デジタル入力／HDMI ARC／USB C

- **名前** - 入力の名前を変更します。
- **アイコン** - 入力のアイコンを変更します。
- **自動検知** - 信号を受信した際に入力を他の入力に優先させたい場合はONに設定してください。入力を手動で変更したい場合や特定の入力で問題が発生した場合はOFFに設定してください。
- **自動検知グループ解除** - 自動検知が有効な入力信号を検知した際に、このプレイヤーをグループから除外したい場合はONに設定してください。
- **A/Vモード** - テレビ信号などのリアルタイム音声ソースをプレイヤーで使用する場合、A/Vモードを有効にしてください。ターンテーブルやCDプレーヤーなどの音声専用ソースを使用する場合は、速度よりも品質を優先するため無効にしてください。
- **圧縮グループ化オーディオ** - グループ化されたプレイヤーを使用する入力で有効にすると、ネットワーク負荷の軽減と信頼性の向上に役立ちます。
- **ソースを非表示** - 音楽タブに入力が表示されないようにするには切り替えます。

**サーバーモード** BluOS ControllerアプリでUSBライブラリーを利用可能にするには、USBドライブ(NTFSまたはFAT32ファイル形式)をBluOSプレーヤー背面のUSBポートに接続し、BluOS Controllerアプリの画面上の指示に従ってください。

- **[Yes] サーバーモード有効** - USBドライブはローカルライブラリーからネットワーク上の他のプレイヤーと共有されます。
- **[No] サーバーモード無効** - USBドライブへのアクセスはUSB接続されたプレイヤーに制限されます。

*注意:接続後、プレーヤーのステータスインジケーターLEDが白色に点灯し、接続されたライブラリのインデックス作成中であることを示します。音楽ライブラリのサイズによっては、インデックス作成に時間がかかる場合があります。ステータスインジケーターLEDが青色に点灯に戻ると、インデックス作成は完了です。*

# 警告！

これはプレーヤーを工場出荷時の状態にリセットするものです。Wi-Fiネットワーク設定、ファイル共有、保存したプレイリストなど、すべてのカスタマイズ設定が失われます。完了後、これらを再作成する必要があります。このプロセスは、プレーヤーが動作せず、インターネット経由のファームウェアアップグレードが失敗した場合にのみ推奨されます。ご質問やご不明な点がございましたら、続行する前にBLUESOUNDカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## ファクトリーリセットの手順

1. 本機の電源を切ります。(電源コードを抜きます)
2. 30 秒待ちます。
3. 電源を再接続します。
4. LED が赤になったら、再生/一時停止ボタンを長押しします。LED はすぐに緑に変わり、その後、赤に戻ります – そのまま 30 秒間ボタンを押し続けてください。
5. 30 秒後、LED が赤に点滅し始めたら、ボタンを離してください。
6. Bluesound プレーヤーのカスタマイズがすべて解除され、工場出荷時の設定に戻ります。

**重要：**LED が赤く点滅し始める前に、再生/一時停止ボタンから指を離すと、ファクトリーリセットがキャンセルされ、プレーヤーはアップグレードモードになります。この場合は、再度ファクトリーリセットの手順を開始してください。

プレーヤーがホットスポットモード(ワイヤレス接続の場合、LED は緑に点灯します)に戻れば、ファクトリーリセットは成功です。プレーヤーが有線のイーサネット接続でネットワークに接続されている場合は、新しいプレーヤーと同様に接続されます(LED が青く点灯します)。



# BLUESOUND®

©Bluesound International. Bluesound、スタイル化されたワードマークと「B」のロゴタイプ、「HiFi for a wireless generation」というフレーズ、NODE、その他すべての Bluesound 製品の名称とタグラインは、Lenbrook Industries Limited の一部門である Bluesound International の商標または登録商標です。その他のすべてのロゴやサービスは、それぞれの所有者の商標またはサービスマークです。